



平成 19 年 4 月 26 日

各 位

会 社 名 新光製糖株式会社
コード番号 2113
代表者名 取締役社長 木田 猛
問合せ先 取締役総務部長
山口 康展
(TEL. 06 - 6939 - 1201)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 18 年 10 月 20 日の中間決算発表時に公表した平成 19 年 3 月期（平成 18 年 4 月 1 日 ～ 平成 19 年 3 月 31 日）の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 当期の業績予想数値の修正（平成 18 年 4 月 1 日 ～ 平成 19 年 3 月 31 日）

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	11,400	470	370
今 回 修 正 予 想 (B)	11,721	697	511
増 減 額 (B-A)	321	227	141
増 減 率 (%)	2.8	48.3	38.1
(ご参考) 前期実績 (平成 18 年 3 月期)	11,263	430	242

(参考) 1 株あたり予想当期純利益 (通期) 44 円 43 銭

(金額の単位: 百万円)

2. 当期の連結業績予想数値の修正（平成 18 年 4 月 1 日 ～ 平成 19 年 3 月 31 日）

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	11,600	600	500
今 回 修 正 予 想 (B)	12,015	877	683
増 減 額 (B-A)	415	277	183
増 減 率 (%)	3.6	46.2	36.6
(ご参考) 前期実績 (平成 18 年 3 月期)	11,515	474	256

(参考) 1 株あたり予想当期純利益 (通期) 59 円 39 銭

(金額の単位: 百万円)

3. 修正の理由

売上高は、粗糖相場の軟化を受け減収見込みと予想しておりましたが、エネルギーコストを中心とする製造コストの上昇もあり、下げ幅が小幅に留まり、売上高は120億15百万円となりました。利益面では、国内市況の下落が予想を下回り、適正価格での販売などの増収効果により、利益が増加しました。また経常利益は、持分法適用会社の業績改善及び保有遊休土地の売却により、利益増となりました。当期純利益は、保有投資有価証券の売却により特別利益を計上したことから、増益となりました。

以 上